

指定管理評価表(武庫西生涯学習プラザ)

令和2年3月31日現在

施設概要	武庫西生涯学習プラザ(尼崎市武庫の里1丁目13-29) 開館時間:平日9:00~21:00 (休館日:水曜日、年末年始) 施設設置目的:教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供 事業内容:武庫西生涯学習プラザの使用に関すること及び施設の維持管理			
指定管理者の名称	三菱電機ライフサービス株式会社伊丹支店			
指定期間	平成31年4月1日~令和6年3月31日			
業務概要	武庫西生涯学習プラザの管理業務(①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品にかかる1件50万円未満の補修工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他)			
利用状況等	項目名	令和元年度	平成30年度	平成29年度
	貸室利用者数	48,163 人	74,268 人	69,000 人
	貸室稼働率	24.64 %	31.04 %	29.04 %
	自主事業開催数	15 回	40 回	57 回
	自主事業参加者数	514 人	1,705 人	2,009 人
所管課・所管課長名	総合政策局武庫地域振興センター武庫地域課・門田 真由美			
評価対象期間	平成31年4月1日~令和2年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 サービスの質の維持・向上		B	今年度から施設の利用について、取り扱いが変更になったため、これまでと異なる対応を強いられつつも、利用者の要望に応えるべく、丁寧な対応を行っている。また、よりよい接遇を行うため職員研修を行うほか、①従事するスタッフが全員参加する会議を積極的に実施②日報の活用、によって情報共有の徹底を図っている。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
2 適正な施設の管理		A	消防訓練については、利用者にも参加を呼びかけるなど、緊急時においても適切な対応がとれるよう心掛けている。指示系統も明確にされている。また、施設の維持管理において、利用者が気持ちよく使える施設を目指し、清掃にも力を入れ、施設的美観を保つよう努めている。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
3 収支・経費節減		A	電力使用においては、第2電力会社と契約するほか、不要な電気をこまめに消灯する等、コストカットを図っている。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
4 指定管理者の経営状況等		A	適正な会計手続きがなされており、経営状況についても問題はない。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
5 その他		B	文書等は適切に管理されており、毎月、三菱電機ライフサービスの職員が訪れ、内部評価を行っている。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
自主事業の実施(プラザまつり・リトミック教室など) 管理運営費の削減 学習室の提供	子育て世代の貴重な交流の場としてリトミック教室等を実施し、これまでの利用者の年齢層より、若い世代の利用が増加している。また、学習室や1階ロビーを学習スペースとして提供しているため、近隣の中高生も多く訪れるようになっており、施設の活性化につながっている。また、地域課との連携を深めるほか、東西プラザまつりの開催時には、お互いの登録グループに参加を促すことで交流促進を図っている。維持管理においても、経費削減を図るため、常にコスト意識を高く持ち、軽易な修理であれば社内で行うなど、工夫を重ねている。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
A	今年度から自主事業への取組みが指定管理者の任意によって行われているが、可能な限り実施し、新たな利用者を発掘できるよう心がけている。利用者数については、独自のHP・リーフレット等による広報活動のほか、SNSを活用すべくタブレット端末の導入を検討しており、情報をリアルタイムで発信することにより、これまでとは異なる層に向けてのアプローチを行うこととしている。施設の維持管理においては、新型コロナウイルス感染症対策として、早期の段階より消毒用アルコールの設置や館内の消毒作業に取り組んでいる。また、地域との交流を図るため、「ふれあいひろば武庫21(武庫まつり)」や「いちごちゃんフェスタ」など市の事業にも積極的に参加し、地域住民との顔が見える関係づくりに取り組んでいる。

※ 評価は、A~Eの5段階評価とする。

※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1~5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。

D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。